

# オンラインによるホームルーム実施に関する アンケート調査レポート

調査期間: 2020年5月12日～2020年5月15日  
回答数: 143校

このアンケートは、あるご利用校の先生から「オンラインHRについて他校の状況など情報が欲しい」というご要望を  
いただいていたアンケートでした。  
毎日変化する状況にご対応の中、140校を超える学校の先生方からご回答いただきました。  
社員一同、心より御礼申し上げます。  
皆様ご丁寧にご回答いただき、オンラインHRを実施する際の工夫もたくさんお寄せいただきました。  
アンケート上でお寄せいただいたご質問に関して、  
回答に当たる工夫をお寄せ下さった先生もいらっしゃいます。  
ご体験されたからこそその皆様の工夫をぜひレポートでご覧ください。

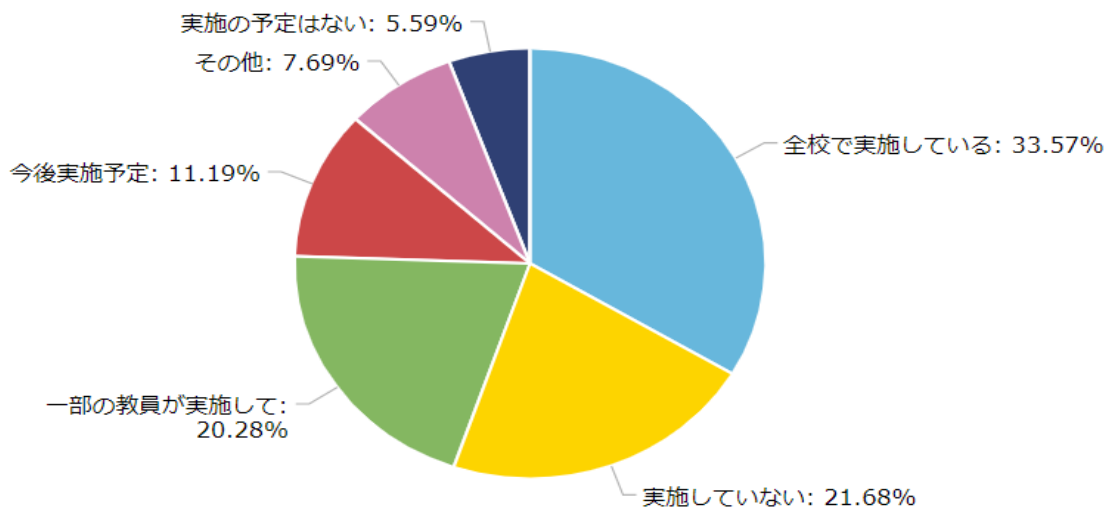
## 質問項目:

- 1、オンラインHRの実施状況を教えてください。
- 2、実施している場合、どの仕組みをお使いですか？
- 3、実施している場合、どのように実施していますか？
- 4、学年ごと、クラスごとに時間をずらしている場合、何クラスまで同時に実施していますか？
- 5、校内のインターネット回線は何をお使いですか？
- 6、回線の上限設定について教えてください。
- 7、外部サーバーをレンタルしていますか。校内にサーバーを設置していますか。
- 8、【オンラインHRを実施されている先生、実施したことがある先生へ】  
オンラインHRを実施する上で知っておいた方がいいポイントや注意点で、  
ご共有いただけることがありましたらご記載をお願いします。
- 9、【みなさまへ】  
オンラインHRの実施やその他のテーマについて、他校の先生方にお伺いしたい事柄が  
ありましたらご記載ください。

回答レポート:

1、オンラインHRの実施状況を教えてください。

全校で実施している	33.6 %	48
実施していない	21.7 %	31
一部の教員が実施している	20.3 %	29
今後実施予定	11.2 %	16
その他	7.7 %	11
実施の予定はない	5.6 %	8



その他回答内容:

今後実施予定だが、一部のクラスに絞り行う予定  
スタディサプリを利用してメッセージを送っている。

環境整備中

これまでは複数の教師で担当してきたが、18日からは全教員が行う。

web授業のテスト配信として実施で各クラス1回のみ

実施していないが、研究・準備を試みている職員はいる

全学年ではない

検討中

教員間では実施している。

(スタディサプリを使用して、メッセージのやり取りを毎日担任が行っている)

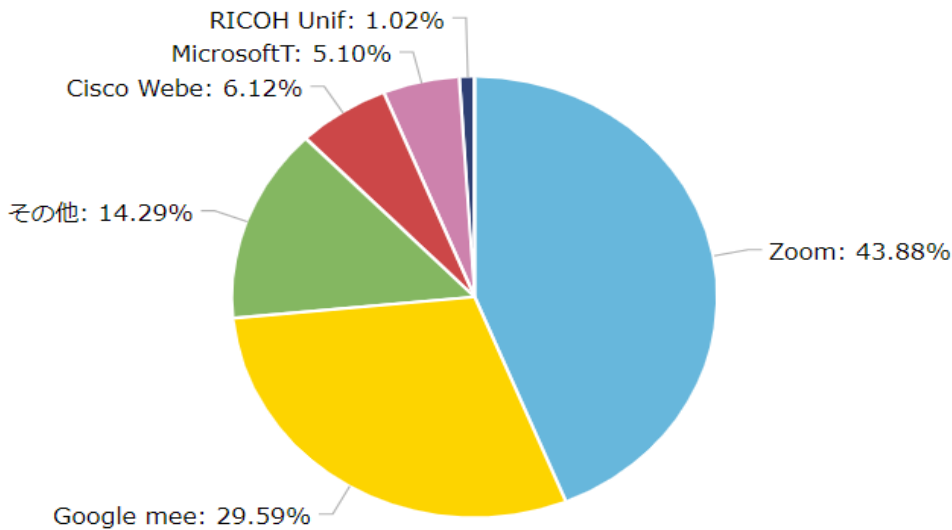
準備中

オンラインの話すら学校で出ていない。検討すらされていない。

検討し実施直前まで進めたが、実施には至らなかった。

2、実施している場合、どの仕組みをお使いですか？

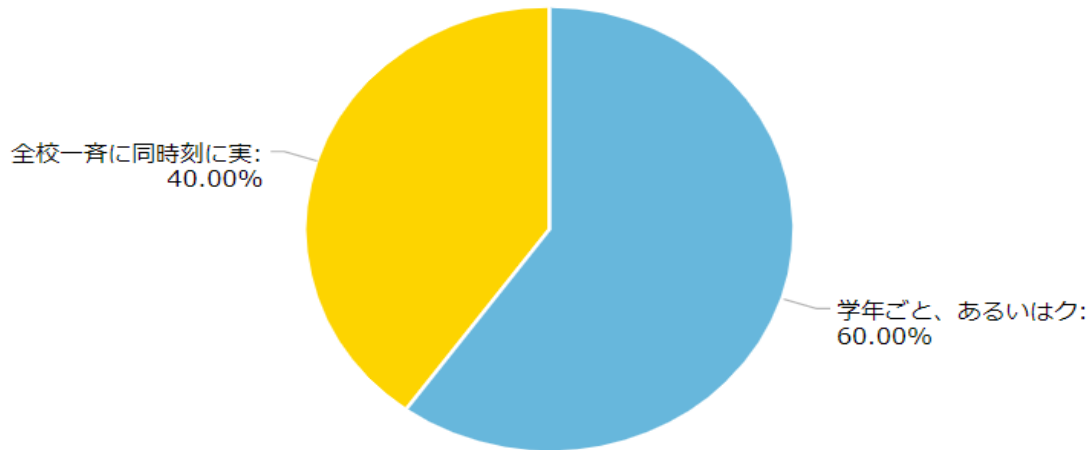
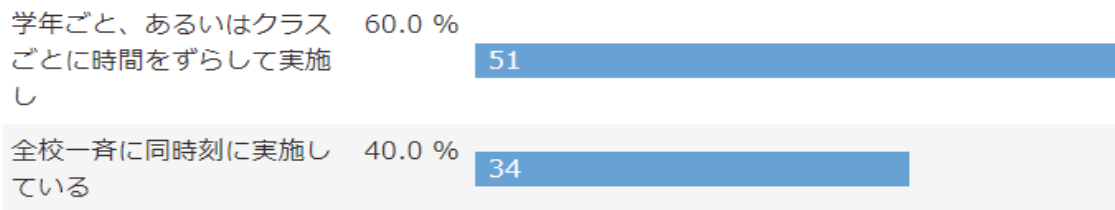
Zoom	43.9 %	43
Google meet	29.6 %	29
その他	14.3 %	14
Cisco Webex Meetings	6.1 %	6
MicrosoftTeams	5.1 %	5
RICOH Unified Communicati	1.0 %	1



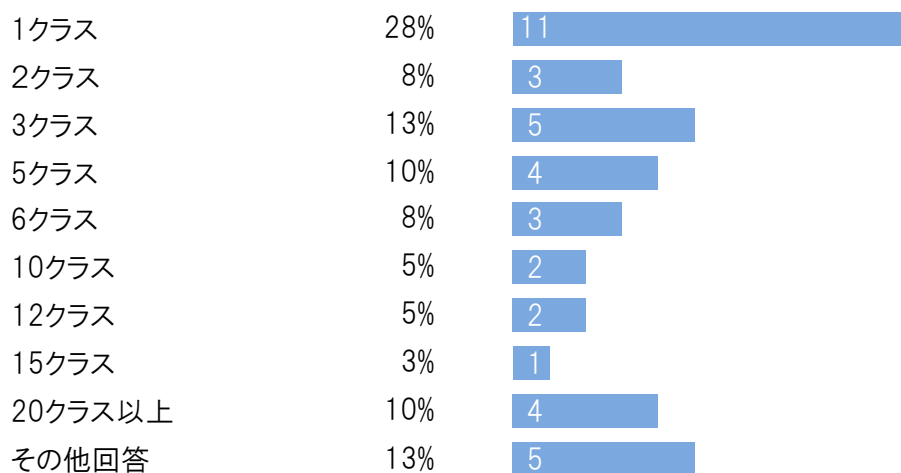
その他回答内容：

- スタディサプリを利用してメッセージを送っている。
- Google Class room
- ZOOMやCisco、googlemeetなど複数
- ロイロノートスクール
- Cisco webexも併用
- LINE
- 一部スカイプ※Zoomの安全性の不安により利用を拒否する家庭があるため
- 上記ソフトを職員が知らない
- Classi

## 3、実施している場合、どのように実施していますか？



## 4、学年ごと、クラスごとに時間をずらしている場合、何クラスまで同時に実施していますか？

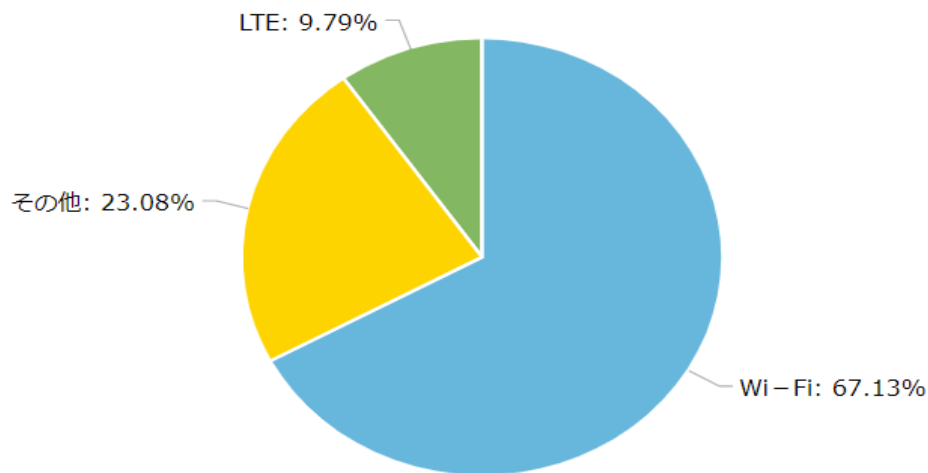


その他回答内容：

HRなどは一斉に。授業は複数クラスをまとめるので10  
 できる先生からチャレンジして行なっている  
 一つの学年を各クラス番号ごとに二つに分ける  
 時間に幅を持たせています。  
 特に決めはない

## 5、校内のインターネット回線は何をお使いですか？

Wi-Fi	67.1 %	96
その他	23.1 %	33
LTE	9.8 %	14

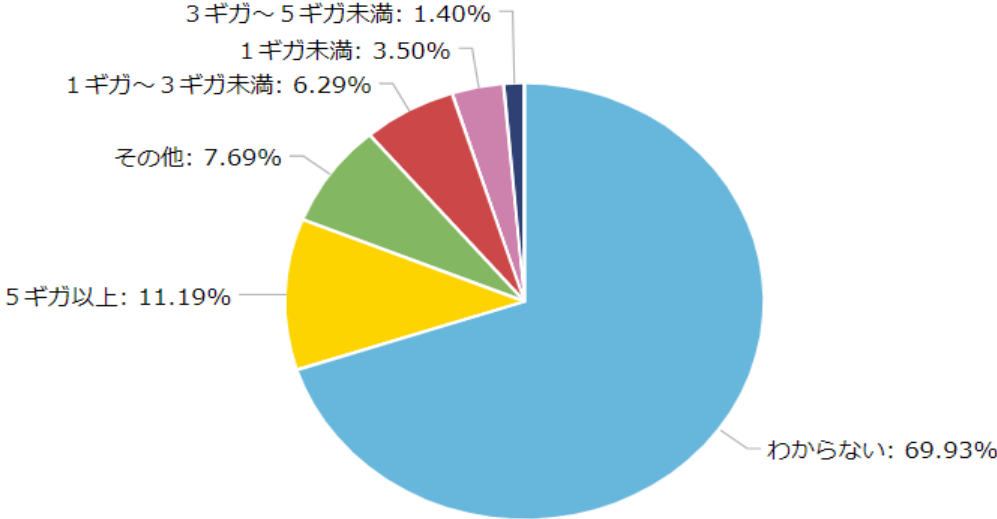


## その他回答内容:

- Wi-Fiと有線LANの併用
- 校内LAN(都の回線)
- 光回線からWi-Fi
- LTE & Wi-Fi
- 県(もしくは都)指定のネットワーク
- 学校情報ネットワーク
- 大学構内の基幹回線に有線、またはwi-fi
- 有線回線のみ
- 教育情報ネットワーク
- 教員も出勤せずに自宅で実施。学校も教員、生徒もほとんど全員がwifi環境あり。
- なし

6、回線の上限設定について教えてください。

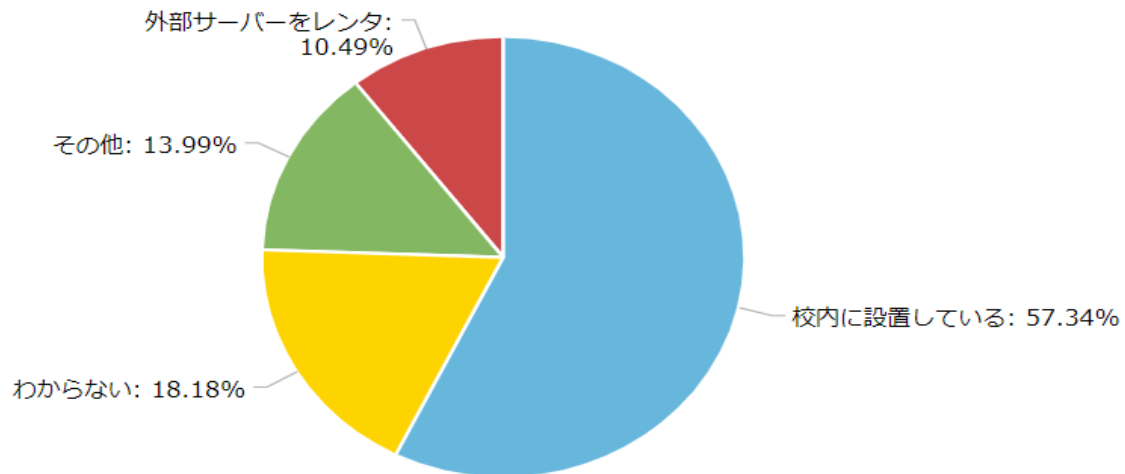
わからない	69.9 %	100
5ギガ以上	11.2 %	16
その他	7.7 %	11
1ギガ～3ギガ未満	6.3 %	9
1ギガ未満	3.5 %	5
3ギガ～5ギガ未満	1.4 %	



その他回答：  
通常3～5ギガだが、今月だけは増やしてもらっています  
ベストエフォート  
拡張工事を予定  
速度ですか？パケットの容量ですか？  
ない  
校内のwifi  
制限なし  
埼玉県教委が設置  
上限なし

## 7、外部サーバーをレンタルしていますか。校内にサーバーを設置していますか。…

校内に設置している	57.3 %	82
わからない	18.2 %	26
その他	14.0 %	20
外部サーバーをレンタルしている	10.5 %	15



## その他回答:

校務用と分けている

校内、Google併用

用途によって分けている

シンクライアント方式で教育委員会に設置

校内一部にWi-Fiがあったが、足りないのをさらにレンタルWi-Fiを増やした。

サーバーもありますが、データはクラウド化しているとか？詳しくないのでわかりません。

県、都の管理下にある教委のサーバー

設置していない

## 8、【オンラインHRを実施されている先生、実施したことがある先生へ】

オンラインHRを実施する上で知っておいた方がいいポイントや注意点で、ご共有いただけることがありましたらご記載をお願いします。

※ご回答内容を、「成功のポイント」「注意点のご共有」「懸念点のご共有」「失敗談のご共有」「その他ご共有」にゆるやかに分類させていただきました。

### 成功のポイント

手軽にできるようで、いろいろな制約があるのがオンラインHRです。生徒の通信環境・使用できる情報端末の有無・生徒も先生も操作方法に習熟しているかどうか等、できる人はできますが全ての人ができるわけではないことを前提に取り組まれた方がよいと思います。

事前に話したいことを文書で知らせておく。私の場合グーグルクラスルームでHRの前にドキュメントを送信しておき、meetではその説明をします。顔を見せることは強要していません。その代わりに、名前を呼んで「〇〇さん、元気」ときます。生徒によってはチャットに「元気です」と入力する生徒もいるので、「ありがとう。よかった！」と声に出して返事をします。チャットを使うと出席確認もできます。また、事前の文書に予定だけでなく、豆知識や最近の話題なども入れると生徒も楽しめると思います。

本校はGoogleClassroomを利用している。また、担任は必ずビデオスイッチをONにしているが、生徒に関してはビデオスイッチをONにすることは任意とし音声のみでも可としている。  
理由：各家庭の状況によっては家の中を多数の人に見られることを嫌がり、オンラインHRに参加しなくなる可能性がある。

現在は全員がそれぞれ異なるデバイスを使用しています。各家庭の通信環境も異なるため、最も条件の悪い生徒に配慮することが重要です。また、高校生はビデオをonにしたり、ミュートを解除することに抵抗を感じるようですが、オンライン授業は安心・安全な場であるべきという共通意識を持たせることが必須です（実際は難しいこともあります）。失敗を恐れず反応することが大切だと意識させるため、顔出し・声出し・チャット・スタンプなどあらゆる手段を使うよう、毎回授業の際に念押しをしています。

私は直接行っていませんが、カメラで顔を出すように促しています。

できる人からできることを始めた方がよい。クラス全員参加しないという声をよく聞かすが、徐々に広げていくイメージに進めた方がよいと思います。

HRの狙いは生徒の健康状態の確認と連絡事項の徹底を中心に相談事があれば受け付けるということが基本なので、それさえできれば教員はclassroom、meet、Zoom…どれを使ってもよい（←本来は好ましくないです）。これこれを使わなくてはいけないというよりも、自分が使えるものを使って目的を果たすことができれば、緊急事態においては認められてよいのではないかと。

HRの目的をはっきりさせている。アプリを使うことが目的にならないように、何をしたいのかをあらかじめ伝えておく。短時間でも一人一人に一言発言させるようにしてマイクやカメラのチェックをする。レクリエーションを通して健康チェックをする。

zoomのチャット機能はとても便利。教室で大きな声で発言することに抵抗がある子でも、先生の方にメッセージを送れる。対面式よりも充実したHRを行える。

時間は長すぎないように、内容を欲張りすぎないようにし、まずは繋がりを大事にするくらいでよい。

中々カメラを映したがない生徒もいるがそれはそれで認めた方が参加率は上がると思います。やはり、やりとりが必要なのでできるだけ生徒に話させる仕掛けは必要です。

呼名に対し、返事やアクションの仕方を決めておくことで時間短縮になる。

なかなか生徒全員の声を聞けるわけではないので、ブレイクアウトセッションにして個々のグループに入って様子を見ています。また録画して、参加できなかった生徒に配信をしています。

- ・タイムラグが生ずるため会話のタイミングに配慮した。
- ・開始時間前からグループを開始し余裕を持って生徒が参加しやすい環境にした。
- ・配信の時間に考慮して20分程度にした（生徒の通信環境が未調査のため）

- ・10分前にはミーティングルームを空けている
- ・生徒には3分前に全員が入室できている状態を目指すようにと伝えている
- ・開始になるまではカメラオフで良いと言っている

1クラスでも、さらに分割するなどした方が、生徒の声は聞きやすいようです。

オンラインHRのねらいを明確にする。いきなり完璧を求めない。ICT関係の部署のサポートが必要。カメラのオン・オフを任意にする。

人数が多くなると出欠を把握するだけでも大変です。担任と副担任で仕事を分担した方がよいと思います。

経験（やらないとわからない）



## ◆注意点のご共有

顔出しNGは意外と多い。プライバシーの観点から強制はしてはいけない。

ビデオのONとOFFの使用上の注意。スクリーンショット禁止。

ZoomミーティングのURL、ミーティングID、パスワードは日毎に更新する。

集合時間は厳守する。オンライン上

オンラインHRIは学校の延長です等のマナーや注意を生徒に指導している。ご家族の職業がわかってしまう等、生徒の発する音に担任は気を使っている。

生徒の通信状況によっては途中で途切れることも珍しくなく、それでも退出になってしまうので事情を考慮した方がよい。全員びったり出ているわけではないと思って重要な情報は別の形で文字でも残しておいた方が安心。

生徒自身が使える環境の確認をしっかりとあげることが大切です。例)タブレットが一台しかないが兄弟で使用している。家庭にWi-Fiがない。など

多くのご家庭でHRの様子を家族でごらんになっている様子です。教員の言動には注意を払っています。また、兄弟でオンライン対応の時間帯が集中することが多く、問い合わせを多く受けます。

## ◆失敗談のご共有

ZOOMのルームナンバー、パスワードを誤入力してしまい、ログインできなかった生徒が出てしまった。

基本的に失敗する物だと思って実施しています。

## ◆懸念点のご共有

グーグルミートはパスワードがありません。グーグルといえ少し心配がある。

なかなか音声のみで顔を出さない生徒が多い。動画を送り合うに耐えられるネット環境がある家庭ばかりではない。

家庭に通信環境がない生徒への配慮

個人情報等のセキュリティー対策

個々の家庭状況の違いをどう整えて対処するかが大変。本校には自宅外生もいるので状況は簡単ではない。

生徒のICT環境次第で参加したくても参加できない生徒がいる。公平性が保てない。参加できなかった生徒にも配慮が必要。全員参加を強制することはできない。その日の事務連絡はオンライン双方向HRで伝えつつ、Classi校内グループでも伝えている。自分自身は4月下旬からオンライン双方向授業もはじめているが、効率よく実施するために事前にYouTubeで作成した動画を配信し、生徒に予習させている。オンライン双方向授業では確認や質問を受けられる程度。※10分間程度その後Classiアンケート機能等で理解度の確認をしている。対面授業1コマ分の内容を10分程度に凝縮することに今のところ成功している。ただし、YouTube用動画1回分を作成するのに3時間以上時間がかかっている。※PowerPoint使用継続できるか心配。

家庭のネット環境がそれぞれであるため、全員の参加はなかなか難しいようです。繋がらない生徒には個別に電話対応等をしています。

## ◆その他ご共有

教職員のコンピューターやアプリケーションのスキル向上。生徒の学習意欲向上。教職員や生徒の学校の意識でマナー遵守などと併せ、授業方法の改革。

健康状態の確認、生活習慣の確立が主な目的として実施している

まだ実施するかどうか検討中である。

現在実施したのは1人。Zoomに全員が入るまで5分ぐらいかかってしまった。スムーズに短時間で入る方法があれば知りたい。トライ&エラーの繰り返しで習熟していくしかないのか。

時間とカメラ&マイクの使い方

生徒の画像や音声オフ(ミュート)にしたほうが、ギガの節約になるようです。

生徒の回線状況

時期的には遅くなってしまいましたが、知識とスキルのある教員だけが、個人プレーで先行してしまうことがないようにすることは大切。学年を代表して、まずある方が実践し、その現場をみんなで見ているという、チームプレーが大切だと思いました。

当初IPADを使用していたもののより多くの生徒たちの表情を画面で確認するためにも、モニターやPCを使用することが多くなった。

特になし

## 9、【みなさまへ】

オンラインHRの実施やその他のテーマについて、他校の先生方にお伺いしたい事柄がありましたらご記載ください。

- ・BYODが不許可のため、双方向は設備的に難がある。動画の配信及び質問の受付、回答で対応。
- ・BYODの際の注意点

・ZOOMの安全性・通信環境がない生徒への対応・オンラインHRの内容

- ・オンライン学習の評価をどのようにやっているかを知りたい
- ・オンラインでのテストを様々試しているが、生徒の端末に依拠してしまう。

- ・大学入試がどうなるのか不安。・オープンキャンパスに参加できない。
- ・進路指導に困っている。・模擬試験や検定を受験できない。
- ・成績評価の方法について※定期試験が実施できないため
- ・Classiが不安定で現場は振り回されている。他校はすでにClassi以外に変更しているのか。
- ・夏休みを短くすることをすでに決定している学校があると伺っている。全国の学校の方針はどうなっているか。
- ・学校を再開した場合、教室で3密を避けることができない。どう対策をとる予定か。

※あくまで私見としての気になる事柄であり、学校としての見解ではありません。

- ・家庭内のプライバシーの保持への懸念
- ・生徒全員が希望するかどうかという点への対応はどのようにしているか
- ・数十分ずっと接続できる状態を維持できるのか不明
- ・離島であり、そもそも各家庭に十分な接続回線が取れているのか不明。
- ・Classi, zoomなどの安全性への疑念(情報漏洩, 不正アクセス等)

HRは担任による差があっても許容されるだろうが、オンライン授業をやるクラス(教科)とやらないクラス(教科)があっても許されるのか？許されないなら、やらない方に合わせるべきなのか？

Zoomの利用方法の配信を見せていただきました。オンライン授業の一般的な内容がとても参考になりました。Googleでする予定で、今構築していますので、参考になるような内容の配信をお願いします。

Zoomを介してのオンラインHRは比較的順調に進んでいます。ただ、参加しない生徒、できない生徒への対応に手を取られていることは否めません。パスワードの管理、再発行などは担任外の担当職員などでも対応できるようにしています。

いくつかの方法を、具体的に必要な環境や手順も含めて教えてもらえると今後の導入の足掛かりになるかと思います。

インターネット環境にない家庭への対応について

うまい方法があれば教えてください。

うまくいかないのが普通だと思っておいた方が、むしろこれがこれからの教育のツールとして活用する準備だと思っておいた方が気が楽だと思えます。

オンラインHRだけでなくオンラインで授業をする時に、単なる講義を生徒に提供していますか、それともオンラインでアクティブ・ラーニングをやっていますか？オンラインでアクティブ・ラーニングをやる場合、どのようなやり方がありますか？

オンラインHRの具体的なやり方、進め方が知りたい。

オンラインHRの実施やその他のテーマについて、他校の先生方にお伺いしたい事柄がありましたらご記載ください。先生方に有益な情報提供ができるよう、今後のレポートの参考にさせていただきます。

オンラインHRの実践事例

オンラインHRも含め、wifi環境が整っていないあるいは機器がないご家庭に対する対応はどうされているのでしょうか？本校の場合、全校生徒を調査したところ2割が上記を満たしていないため、電話連絡やオンデマンド型にせざるおえない状況です。オンラインHRを採択する際に、保護者へどのような手法で周知、ご理解頂けたのか、各学校の導入方を是非とも伺いたいです。

オンラインHRを行うことの意義は生徒の生活習慣と、保護者の安心感を担保する以外で、どのようにお考えか教えていただきたいと思えます。

オンラインで数学の小テストを行う方法について実施例を知りたいです。

オンライン環境がない生徒または、環境が悪い生徒に対してどのように配慮していますか。

オンライン授業とは、常にリアルタイムで授業をするというイメージがあるが、そうではなく、動画視聴や課題配信などもオンライン授業の一環であると生徒、保護者にも理解してもらう必要がある。

オンライン授業をするにあたり共有するにあたり有益な情報があれば共有したいです。特に「社会」「世界史」についてお願いいたします。

オンライン授業を上手に運営している学校、また優れた実践例を紹介してもらいたい。

グーグルクラスルームの具体的な運用例と指示プリントなど示していただきたい。

さまざまな形を模索中アプリその他

どのような内容のHRを実施されているのか。

## ネット環境が十分ではない生徒や保護者への対応

家庭にネット環境がない、回線の契約に上限があるといった生徒への対応。特に、オンラインや動画視聴の課題に対してどのようなフォローを行っているのでしょうか。また、通信料を払えというような無茶なクレームが入ることがあります。そのような場合、どのような対応をされているのかも伺えればと思います。

家庭に通信環境がない生徒がおり、現時点では機器の貸与もできていない場合の保護者への説明について。

家庭の通信環境を整えるために、高校側が家庭に補助(費用)を出しているところがありますか。大学では補助を出しているとよく聞きますが…。

各家庭の端末の整備状況が100%でないと難しいと考えるが、オンラインHRを実施されている学校さんは家庭の端末は家庭での準備で100%なのか、学校から貸与等での100%なのか。ネット接続も全家庭にWIFI環境があるのか?家庭によっては従量制の携帯電話料金代にしている家庭もあるが、その家庭への対応など、いわゆるハード面の整備について伺いたい。

学校再開後に、どのように3密を避けて授業しますか？

顔を見せるようにさせる工夫は？出したがらない子もいると聞きます。

現在、教員側から生徒へ一歩的な動画を配信しております。今後は、コロナの2波・3波感染対策の為、生徒・教員の双方向の連絡手段を考えております。「仕組み」には、一長一短があると考えますが、色々ご教授いただけると幸いです。よろしくお願ひいたします。

現時点では特になし。

個人的に、私物を用いてオンラインHRを数回行ったが、学校としての拘束力が無いため、生徒が参加しないことが多い。

今後、生徒個々にIDを配布し、自己管理させるつもりですが、課題となることがあれば教えていただきたいです。また、休校中の対策以外での利用方法があれば伺いたいと思います。

授業配信も試行錯誤して実施している教員が数名の状態である。効果的な方法を知りたい。

上述のように生徒に話させるしかけのレパトリーがあれば教えていただきたいです。

神戸市全体でハード面での遅れが大きいため、全く前進できない状態です。是非とも実施例を教授していただければと思います。

生徒の顔出しは最初から求めているのか(許可しているのか)についてオンラインで行う際に生徒の受信状況等の確認はどのように行っているのか。例えば音声がかかっているかの確認などはどのように行っているのがよいか。

朝の同時時間帯に全クラス一斉HRを実施している学校があれば、ネット環境について伺いたいです。また、ZOOMを利用した場合のHRでは、総数で何名の生徒と同時にストレスなく繋がることのできているのかも伺いたいです。

特になし

特になし

媒体のセキュリティ、業務の増加など先生の意識変革へのアプローチが必要。

本校でも1日でも早く実施をしたいのですが、「全員一律でなければならない」決まり文句に阻まれ、一向にオンライン可が進みません。実施されている、もしくは実施が決まった学校様は、その辺のハードルをどのようにして越えられたのでしょうか？

目的を明確にして取り組みやすくしたことがよかったと思います。「つながる」とか「学びを止めない」とか「学びの質の向上」という表現で本校では徐々にアプローチのレベルを上げています。